

ページなど	誤	正	備考	摘要
P132 5.6.1(3)解説	<p>コンクリートに生じる圧縮応力度については、設計基準強度が50N/mm²程度までは圧縮強度の2/3を超える圧縮応力度、それ以上の強度においては圧縮強度の40%程度を超える圧縮応力度が生じなければ、非線形性が強まり可逆性を示さなくなることはないと考えることができる。</p>	<p>コンクリートに生じる圧縮応力度については、圧縮強度の2/3を超える圧縮応力度が生じなければ、非線形性が強まり可逆性を示さなくなることはないと考えることができる。</p>	<p>「設計基準強度が50N/mm²程度までは」の削除 「、それ以上の強度においては圧縮強度の40%程度を超える圧縮応力度」の削除</p>	
P153 5.8.1(4)解説	<p>$Mud=C \cdot y1+T \cdot y2$ ……………(解5.8.3)</p>	<p>$Muc=C \cdot y1+T \cdot y2$ ……………(解5.8.3)</p>	<p>「Mud」→「Muc」</p>	
P264 10.4.3(5)解説	<p>(4) 隔壁に発生するひび割れを抑制するため</p>	<p>(5) 隔壁に発生するひび割れを抑制するため</p>	<p>「(4)」→「(5)」</p>	
P264 10.4.3(5)解説	<p>(5) 桁高変化がある場合には、</p>	<p>(6) 桁高変化がある場合には、</p>	<p>「(5)」→「(6)」</p>	